

SDGs 達成に向けた宣言書

所在地 高知県吾川郡仁淀川町竹ノ谷 887-1  
企業・団体等名称 株式会社ツボイ

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

弊社の経営理念である「未来の子供たちに安全で安心な食材の提供」、「きくらげ栽培を通じて地元仁淀川町を PR し地域の活性化に繋げる」は、SDGs の達成と目標を同じくするものであり、社員、スタッフがそのことを自覚し、それぞれの役割を果たしていくことにより、SDGs の目標達成に取り組んでいきます。

3側面 主な分野に○	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 <登録年月日> 令和3年 10月 22日	チェック リストの 関連する 番号
○環境 ○社会 ○経済	きくらげ栽培工程における冬場燃料の削減と CO2 排出量の削減(2019 年ヒートパイプ【暖房設備】導入:きくらげ栽培では日本初) (2021)	重油、灯油の 30%削減と維持 (2021:30%削減 →2030:30%削減維持)	光熱費の高騰があり生産に影響が出ているが、燃料の使用量は通常の 30%削減に至っている(2021→2022)	14、15、 19、23、
○環境 ○社会 ○経済	変色、規格外、破れ等を含むきくらげ食品ロスの削減(2022)	規格外商品を使用した防災食品(2品)、介護食品(2品)の商品化。 (2022年~2023年試作品開発) 2030年には仁淀川町約 5,000 人分の保存食を町で確保して頂けるようにする。廃棄率 0%を目指す。	2022 年 10 月現在 防災用・介護用のお粥レシピ試作中(2021→2022)	25、36、 39
○環境 ○社会 ○経済	廃菌床(産業廃棄物)の商品化(リサイクル) (2021)	廃菌床のリサイクル or 商品化 (リサイクル率 2021: 5%→2030:100%) (商品化 2021:試作 →2030:昆虫飼育マット、畑などへの肥料として商品化)	2022 年土壌改良肥料を試作実験中。(トマト農家、自社農地での南瓜、すいか栽培実験、多肉植物への実験継続中) 2022 年かぶとむしの幼虫を専用のエリアにて飼育実験中(2021→2022)	13、18

#### 【記載留意点】

- ・「環境」、「社会」、「経済」の3側面の全てについて、重点的な取組を記載してください。なお、取組が複数の分野にまたがる場合は、それぞれの分野に「○」をしてください。3側面の全てに○があれば、取組は必ずしも3つ記載しなくても構いません。
- ・「SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト」(様式第3号。以下、「チェックリスト」という。)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・「2030年に向けた指標」は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「重点的な取組及び指標の進捗状況」については、新規登録時は記入不要です。
- ・「チェックリストの関連する番号」については、「SDGs達成に向けた重点的な取組」及び「2030年に向けた指標」と関連性のあるチェックリストの項目番号を記載してください。